

## Asian Congress of Nutrition 2019 にて口頭発表

私は、2019年8月4日～7日にインドネシア・バリ島で開催された Asian Congress Nutrition 2019 に参加しました。本学会は、医学、公衆衛生学や食品科学など多分野における食事や栄養についての研究が報告され、最新の研究に関心を持つ研究者により活発な議論が展開されていました。

私は、「Effects of Butyrate on Sucrase-Isomaltase Gene Expression in Intestinal Epithelial Cells (腸管上皮細胞における酪酸のスクラーゼ・イソマルターゼ遺伝子発現への影響)」というテーマで、自身の研究成果を口頭で発表しました。本研究では、ラットに HDAC 阻害効果が知られる酪酸を摂食させると、空腸において、スクラーゼ・イソマルターゼ (SI) 遺伝子周辺のヒストン H3 アセチル化が増大し、転写関連因子の結合量も増大して、mRNA 発現量の増大に繋がることを明らかにしました。さらに、ヒト腸上皮細胞様に分化する Caco2 細胞においても、酪酸添加により SI 遺伝子の mRNA 発現量が増大したことを報告しました。

国際学会での初めての口頭発表は反省も多く自身の成長に繋がる経験になり、他の研究者の発表も聴いて、異文化の食事における先端の研究も学ぶことができました。セレモニーなどにおいてもインドネシアの伝統文化や郷土料理を体験することができ、貴重な経験になりました。



薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻  
博士前期課程2年 鈴木 美佑